



「恋人の聖地」をデートしながらセブン限定の「ポッキー グランショコラ」を食べてきた！

夕刊ガジェット通信：ニュース一覧

2014年2月10日(月)10時25分配信

777 ガジェット通信

0 コメント

ツイート 0

B! 0

m イネ!

8+1 0

f いいね! 0



「恋人の聖地」をデートしながらセブン限定の「ポッキー グランショコラ」を食べてきた！

夕刊ガジェット通信

バレンタインデーも間近に迫り、カップルたちが盛り上がる季節がやってきた。どこに出かけようか、どんなチョコレートをプレゼントしようか、そんな嬉しい悩みがある時期だ。

そこで今回は、デートにオススメの「恋人の聖地」を紹介しようと思う。筆者が先日、彼女と出かけた場所だ。素晴らしきデートだったのでぜひ紹介したい。

カップルで恋人の聖地に！

「恋人の聖地」というものがある。恋人の聖地プロジェクト (<http://www.seichi.net/gotoseichi/>) が選定した、プロポーズにふさわしいロマンティックなスポット、それが「恋人の聖地」だ。つまりデートで出かけるのにピッタリな場所のこと。関東だとお台場や横浜マリニタワーなどがそれである。

今回はそんな数ある「恋人の聖地」からお台場「ヴィーナスフォート/パレットタウン大観覧車」をチョイスした。砂浜もあり、そこからはレインボーブリッジが見える。デートには完璧と言える場所だ。

ベタな場所と思われるかもしれないが、デートで行くとやはり楽しいのがベタな場所のいいところ。外さないのだ。

そしてデートに行ってみるとやっぱり楽しい。筆者も思わずはしゃいでしまった。そして、カメラが好きな彼女が筆者をたくさん撮っていた。写真からもその楽しさが伝わると思う。

キスを求めるヴィーナスフォート

早く行こうとは彼女の手をひっぱり、「恋人の聖地」である「ヴィーナスフォート」に向かった。あくまでも自分が楽しむのではなく、彼女に楽しんでもらわないといけない。

「ヴィーナスフォート」は、室内なのに外のようで噴水もある。イルミネーションもあり、愛し合うカップルには最適な場所だ。筆者たちが訪れた時も何組ものカップルが楽しそうに歩いていた。アウトレットフロアもあるので時間がいくらでも潰せてしまう。

美しい！

つついキスをせがむ！

雰囲気につられてか、彼女にキスをせがんでしまった。ほっぺにチューして欲しかったのだ。その瞬間を彼女が撮っていて後で写真を見せられ照れてしまった。恋人の聖地にはそんなパワーがあるのだ。

バレンタインデー限定で、カップルでポッキーを持って「ヴィーナスフォートの噴水広場」に行くと、プロのカメラマンさんが写真を撮ってくれるキャンペーンをやっている（詳しくは[コチラ](#)）。これは絶対に行くべきだ。筆者たちも絶対に行こうね、となった。

ドキドキの大観覧車！

次は大観覧車だ。高さ115メートル、一周16分のカップルだけの空間だ。乗る前には記念撮影もあり、降りた後に1000円で買うこともできる。普段ならともかくバレンタインという記念の日ならばぜひ買うべきだろう。筆者たちはもちろん買った。

二人きりになると照れる。

バレンタインデーまで限定で「バレンタインチケット」の販売もある。大観覧車ペア乗車券、ゴンドラ型ストラップ（2個）、乗車記念写真（2枚）がセットになっており、通常は4800円になるが、このチケットを買えば3000円。思い出となるのでぜひオススメしたい（詳しくは[コチラ](http://www.daikanransha.com/image/2014valentine.pdf) <http://www.daikanransha.com/image/2014valentine.pdf>）。降りたら写真ができあがっています。

ポッキー グランショコラで「とろける濃密。」なポッキーゲームを

夕日が綺麗な時間になって浜辺へとやって来た。レインボーブリッジが見え、その向こうには東京タワーが見える。筆者たちカップル以外にも多くのカップルが夕日の海を眺めていた。

筆者はポッキーを取り出した。ただのポッキーではない。グリコとセブン-イレブンがコラボした「ポッキー グランショコラ」だ（セブン-イレブン限定販売）。オランダ産ココアを練り込んだプレツェルを、濃厚なミルクチョコレートでコーティング。心もとろける濃密なくちどけを体験できる。それを彼女と一緒に体験したいのだ。

発売したばかりです！

観覧車やヴィーナスフォートですっかり気分は盛り上がり、ポッキーゲームを彼女にせがんでしまった。夕日の浜辺。ポッキーゲームには最適なのだ。なによりこのグランショコラはポッキー史上最もくちどけがよいそうだ。彼女と一緒にその最高のくちどけを味わう。素晴らしきではないか。そして、彼女は恥ずかしそうにポッキーゲームを応じてくれた。ピンクに染まる彼女の頬を筆者は忘れたいだろう。来てよかった。やはりデートには恋人の聖地だ！

#彼女いません

嘘でした

散々デートと書いてきたが彼女はいない。ずっとひとりでカップルで賑わうお台場を歩いて来たのだ。ヴィーナスフォートもひとり、観覧車もひとり。全部ひとりなのだ。彼女はいないのだ。誰も頬を染めないのだ。なんなら恥ずかしくて筆者の頬がピンクに染まっていた。

ひとりでした。

ひとりでした。

そんな辛さを忘れさせてくれるのもまた「ポッキー グランショコラ」だった。スティックにもショコラの美味しさがしみこんだ濃厚な甘さによって、ひとりぼっちの濃厚な寂しさを制するのだ。甘い。恋人たちの甘さをこちらはポッキーで補うのである。完璧だ。次はぜひカップルで来たいけど。

甘くて美味しいよ！ これぞまさに「とろける濃密。」

【関連情報】

ポッキー グランショコラ

<http://pocky.jp/products/grandchocolat/index.html>